

# 総代のみなさまへ

2021年度 第7号 1月10日



生協ひろしま 理事会

新しい1年が始まりました。2022年、創立50年を越えてこれからもみなさんと共に実りある時をすごせますように。今年もよろしくお願いいたします。



## 第8回理事会の報告

理事長より、今年も新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。しかしその中で、自分と家族を守るため、自己規律意識が高まったと思います。また、オンラインなどデジタル化がすすみ便利になった一方で、みんなで集まってのコミュニケーションが薄れてくる中、人と人の繋がりが大事ということが再認識されています。協同組合の理念「相互扶助」の精神が発揮できるよう、くらしの中心に生協がありたいと改めて感じています。これからの2030年ビジョン、2024中期計画を作成していく上でもこの考えを大事にしていきたいとの報告がありました。

## 第1号議案 第38回通常総代会への上程議案（第一次案）について

2022年6月15日(水)に開催する第38回通常総代会の議案として、議案を3つ上程することを決定しました。今後、議案の追加・削除・変更が発生する場合は、その都度の理事会で協議し決定します。

議案	内容（議案内容の概略）
第1号議案 2021年度私たちが取り組んだこと －2021年度活動報告及び決算報告承認と剰余金処分案決定、監査報告について－	2021年度1年間の事業・組合員活動のまとめと決算を報告し、剰余金処分の決定をします。 また、監事会から監査報告がおこなわれます。
第2号議案 2022年度私たちが取り組むこと －2022年度活動方針及び事業計画と収支予算案の決定について－	2022年度に取り組む事業や組合員活動、予算について決定します。
第3号議案 総代会決議の採択について	2022年度に生協ひろしまが進めようとする内容を決議文として出席者全員で確認します。

## 第2号議案 2023年度 第39回通常総代会の開催日と会場について

2023年度に開催する「第39回通常総代会」はNTTクレドホールで、2023年6月13日(火)10時開会、12時30分閉会（予定）とすることを決定しました。

## 第3号議案 職員退職金規程改定提案（マッチング導入にともなう）

総合職企業型確定拠出年金制度へのマッチング拠出<sup>\*</sup>制度導入にともない、職員退職金規程の一部改定を決定しました。

<sup>\*</sup>マッチング拠出とは、企業型確定拠出年金で、会社が拠出する掛金に加えて加入者本人が掛金を上乗せして拠出することができる仕組み。

## 第4号議案 2022-2024年度中期計画骨子案（一次）

2022年度から2024年度に取り組む中期計画の骨子案（一次）を確認しました。中期計画の骨子案では以下の5点を基本として組み立てています。

- ① 総事業高は、コロナウイルス感染症の収束に伴い現状より縮小となるが、経常剰余率は1.4%をめざします。
- ② 県内全市町との包括的連携協定を結ぶことにより行政と連携し地域活性化に貢献します。
- ③ DX※推進により、組織体制やサークル活動等の活発化を図り、組合員活動の参加を大幅に増やします。
- ④ 商品を中心とした活動により食と地域のつながりづくりを推進します。
- ⑤ 2022年1月理事会で確認するSDGs計画を実行します。

※DXとは、デジタルトランスフォーメーションの略でデジタル技術を活用して人々の生活や働き方をよりよいものに変えていく概念。

## 第5号議案 11月度組織・事業状況及び決算報告

1. 11月度の決算・事業状況について、報告がありました。要旨は以下の通り。

11月度の全体の利用高は39億5,772万円で計画比104.4%・前年比104.4%となり計画に対して1億6,639万円上回っています。累計では317億7,976万円で計画比105.8%・前年比99.2%となり計画に対して17億5,547万円上回っています。

### 損益計算書

単位:千円

科目名	2021年10月度(単月)			2021年4月～10月(累計)		
	実績	予算	予算差	実績	予算	予算差
供給高(利用高)	3,957,718	3,791,326	166,392	31,779,758	30,024,289	1,755,469
宅配事業	3,319,092	3,157,667	161,425	26,443,134	24,891,898	1,551,236
店舗事業	638,626	633,659	4,967	5,336,624	5,132,391	204,233
供給剰余金	999,383	947,953	51,430	8,038,831	7,529,057	509,774
GPR	25.25%	25.00%	0.25%	25.30%	25.08%	0.22%
電力供給高	23,712	23,877	-165	147,103	183,875	-36,772
電力供給剰余金	1,069	2,313	-1,244	8,413	24,106	-15,693
福祉事業収入	125,922	123,511	2,411	973,389	985,252	-11,863
福祉剰余金	18,917	15,454	3,463	124,266	120,575	3,691
その他事業収入	117,704	117,859	-155	998,406	959,696	38,710
共済受託手数料	61,306	62,205	-899	487,832	492,894	-5,062
事業総剰余金	1,137,073	1,083,579	53,494	9,169,915	8,633,434	536,481
人件費計	542,358	524,625	17,733	4,271,812	4,210,557	61,255
物件費計	517,202	556,209	-39,007	4,042,315	4,317,847	-275,532
事業剰余金	77,512	2,745	74,767	855,788	105,030	750,758
事業外収益	23,337	19,267	4,070	185,343	169,708	15,635
事業外費用	251	291	-40	2,126	2,808	-682
経常剰余金	100,598	21,721	78,877	1,039,717	271,930	767,787

※共済受託手数料はその他事業収入に含まれています。

### 宅配事業

宅配事業の11月度利用高は計画比105.1%・前年比105.8%、累計では計画比106.2%・前年比99.0%。利用人数が計画比103.5%、一人当たりの利用高は前年比97.7%と下回りましたが利用人数が超過したことで、利用高の計画を達成しました。

## 店舗事業

店舗事業の11月度利用高は計画比100.8%・前年比97.8%、累計では計画比104.0%・前年比100.3%。来店組合員数は前年比が101.5%、客単価は前年比が101.1%でした。来店組合員数・客単価が前年を上回ったことで店舗の利用高は計画を達成しました。

## 福祉事業

福祉事業の剰余は、11月度の実績が計画比122.4%・前年比159.4%、累計では計画比103.1%・前年比144.7%でした。福祉事業収入は在宅介護・相談センターで予算を下回り、全体でも予算割れでした。福祉事業費用は予算内執行で、福祉剰余金は予算を上回りました。

## 共済事業

共済事業の受託手数料は11月度の計画比98.6%・前年比100.9%、累計でも計画比99.0%・前年比101.2%で計画を下回りました。宅配・店舗の共済手数料振替が計画を超過し、事業総剰余金は計画をわずかに下回りました。

## 経費（人件費・物件費）

経費は11月度の人件費が計画比103.4%・前年比102.6%、累計が計画比101.5%・前年比102.4%となり、物件費は11月度が計画比93.0%・前年比102.0%、累計が計画比93.6%・前年比100.3%となりました。

## 経常剰余金

結果として経常剰余金は、11月度が計画比463.1%・前年比143.1%、累計では計画比382.3%・前年比87.3%で、計画より7億6,779万円上回り、10億3,972万円となりました。

## 2. その他事業および商品の情報

- (1) 2022年1月～2022年2月に改廃されるコープ商品の情報を確認しました。
- (2) 2022年度総代の選挙区と定数について確認しました。今回改選する総代の任期は、2022年度開催の第38回通常総代会の翌日（2022年6月16日）から2023年度の開催の第39回通常総代会当日（2023年6月13日）までとします。
- (3) 広島県へ申請し、広島県環境県民局と協議を重ねていた「員外利用許可申請」の認可が下りました。消費生活協同組合法施行規則11条第一項第1号イに規定する、次の施設に対する物品供給が認められ今後は法人としての登録が可能となります。

施設類型	施設名
学校その他の教育文化施設	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学等
医療施設・病院	病院・診療所など
社会福祉施設・保育所	老人福祉施設・障がい者福祉施設・児童福祉施設・保育所など

## 第6号議案 11月度一般活動報告

11月度の活動状況について、報告がありました。要旨は以下の通り。

1. 11月度の内部統制（法令遵守事項、事故内容、省エネの進捗状況、組合員からの声など）の内容について報告、確認しました。
2. 11月度のグループ会社（コープサービス、コープハウジング、ハートコープ、ハートランド）の事業内容について報告、確認しました。
3. 11月の組合員活動報告として、「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」の引き渡し、創立50周年「被爆ピアノコンサート」の開催状況、災害支援活動「呉市安浦安登地区茶和会」について確認しました。11月2日から開催した2021年度総代懇談

会のまとめを確認し、総代には郵送などします。8月豪雨災害募金は、11,498,313円の協力があり日本生協連を通して、被災者支援のための義援金及び支援活動に活用する支援金として届けることを確認しました。

## インフォメーション

### ☆リフォームショールーム YUTOROGI 12/10 リニューアルオープン！

コープハウジングひろしまのショールーム（安芸郡海田町）が、「田舎暮らしに憧れる、都会の生活空間」をイメージして、全面リニューアルしました。

### ☆12/11.12 コープ船越フードドライブ ご協力ありがとうございました。

145名を超えるみなさまから、20品目合計437点、140,478円のご支援をいただき、12月22日、フードバンクゆるティに贈呈しました。

### ☆中国新聞 ヤングスポット 2021年12月17日に掲載されました。

#### 被爆ピアノを弾いた 小学生 岩崎 湊さん 11歳（庄原市）

庄原市であった被爆ピアノコンサートに参加しました。まず、被爆者の方のメッセージ映像を見ました。体験を語られる中で「これからは必死で平和を守っていかなければならない」と何度も繰り返されました。平和な時代に生まれた私たちとの意識の違いに気付きました。

次に、被爆ピアノの修復を手掛ける調律師の矢川光則さんの話を聞きました。目の前にあったピアノは爆心地から1.8キロしか離れていない所で被爆したそうです。燃え尽きてもおかしくないのに弦が3本だけ切れた状態で矢川さんの手に渡ったそうです。生き延びたピアノが今、被爆ピアノとして全国を回っている意味を改めて考えさせられました。

実際に弾いてみると、音色がとても豊かで古いピアノだとは感じませんでした。コンサートでは合唱もあり温かい雰囲気でした。

貴重な機会に感謝するとともに、被爆者の声を私たちが伝えていかなければと実感しました。



### ☆中国新聞 広場 2021年12月20日に掲載されました。

#### 家事援助受けて養生 主婦 古庄 美保さん（広島市佐伯区）

3年前、突然の病気で入院した。真っ先に心配したことが、夫と子ども3人の食事など家事をどうすればいいかということだった。

近くに頼れる親族はいない。経済的な負担をかけられない。そんな中、夫は頑張って食事作りや洗濯などの家事全般を担ってくれた。高校生だった長男も手伝った。時には外食もしたようだ。

家事などを援助し合う生協ひろしまの「くらしの助けあい」という制度も活用した。病気やけが、高齢の方の家事を有償で助けるという活動だ。週に2回、夕食を作ってもらった。

治療に専念でき、この夏退院できた。結局2年半も入院生活を送った。家に帰ったが、まだ体がしんどくて横になることが多い。今も夫が家事をいくらかしてくれており、「くらしの助けあい」の方も引き続き来ていただいている。

自宅で家族と一緒に生活できる幸せを実感している。感謝の気持ちを大切に、無理をせずゆっくりと養生したい。

